

第2回 1級試験実施概要

試験日

一次試験: 2024 年 1 月 10 日 (水)

二次試験: 2024 年 2 月 7 日 (水)、14 日 (水)

(いずれも、不測の事態は別途試験日をもうけます)

一次試験について

- ・一次試験は WEB による遠隔試験で行います
- ・試験内容: 選択肢問題、筆記試験問題
- ・試験時間: 80 分
- ・WEB 試験の配点: 80 点満点 (*)
- ・合格評価:
 - (1) 症例等報告書 (20 点満点)
 - (2) WEB 試験 (80 点満点)
- ・合格基準:
 - (1) と (2) の合計点 (100 点満点) の 80% に達した方を一次試験の合格とします。

二次試験について

- ・二次試験は 一次試験の合格者を対象に面接形式で実施します。
- ・実施方法:
 - 一次試験とは別の日程で実施します
 - WEB による面接試験として実施します
 - 面接試験は録画して採点に使用します
- ・出題内容:
 - ウサギに関する一般的な質問
 - 症例報告書等の内容に関する質問
 - その他
- ・面接担当:
 - JCRA 関係者 3 名 (理事、事務局から 3 名) (面接担当者は受験当日まで非公開とします)
- ・二次試験評価者と評価方法:
 - JCRA 関係者の 4 名の評価
 - 各評価者が独立して公平に評価します (各評価者持ち点 10 点。合計 40 点)
- ・合格基準:
 - 合計点が 80% に達した方を二次試験の合格とします

最終評価について

- ・二次試験に合格された方を 1 級合格者と認定します。

症例等報告書について

提出目的と

- ・受験者がウサギ臨床への専門性、動物としてのウサギへの高い理解度を持つウサギ・マスター候補であることの確認を目的とします。
- ・症例等報告書の内容をもとに二次試験(面接試験)を実施します。

症例等報告書の内容(分野)

1. 受験者自身のウサギ診察症例の中から、稀な疾患の報告
2. 受験者自身のウサギ診察症例の中から、漢方などの西洋医学治療やレイキなどの自然療法で良い結果が得られた症例
3. ウサギの治療に取り入れることが可能な新しい薬剤や治療法について、その根拠とともに紹介
4. ウサギの魅力についての解説
5. 産業動物(毛皮や肉の利用)としてウサギが活用されることについての受験者の考え
6. 実験動物としてウサギが活用されることについての受験者の考え

・分野 1～6 から4つを選んで提出してください。

・受験者が獣医師でウサギ臨床の経験がある場合、分野 1 あるいは分野 2 を必ず1つ含めて下さい。

・受験者が獣医師でウサギ臨床の経験がある場合、分野 1 あるいは分野 2 を複数提出することも可能です。(例:分野1のレポートを4つ提出する)

・受験者が獣医師であるがウサギ臨床の経験が無い場合、受験者が獣医師で無い場合、分野 3～6 を1つずつ提出してください。

○分野1と2については、様式1を用いて以下の内容を記載して作製して下さい。

1)タイトル(報告のタイトル)

2)目的

3)症例内容

- * 患者について(報告出来る範囲で)
- * 患者の病歴
- * 診察結果(含、病理テストその他の検査結果)
- * 当初の治療計画
- * 実際の治療結果

4)考察

○分野3から6については、様式2を用いて作製して下さい。

○症例報告書等は症例毎に作製してください。各自4ファイル提出して下さい。

提出された書類は試験の評価以外の目的には使用ませんが、受験資格と公正な受験成績の記録を目的として受験後5年間は事務局にて保存します。